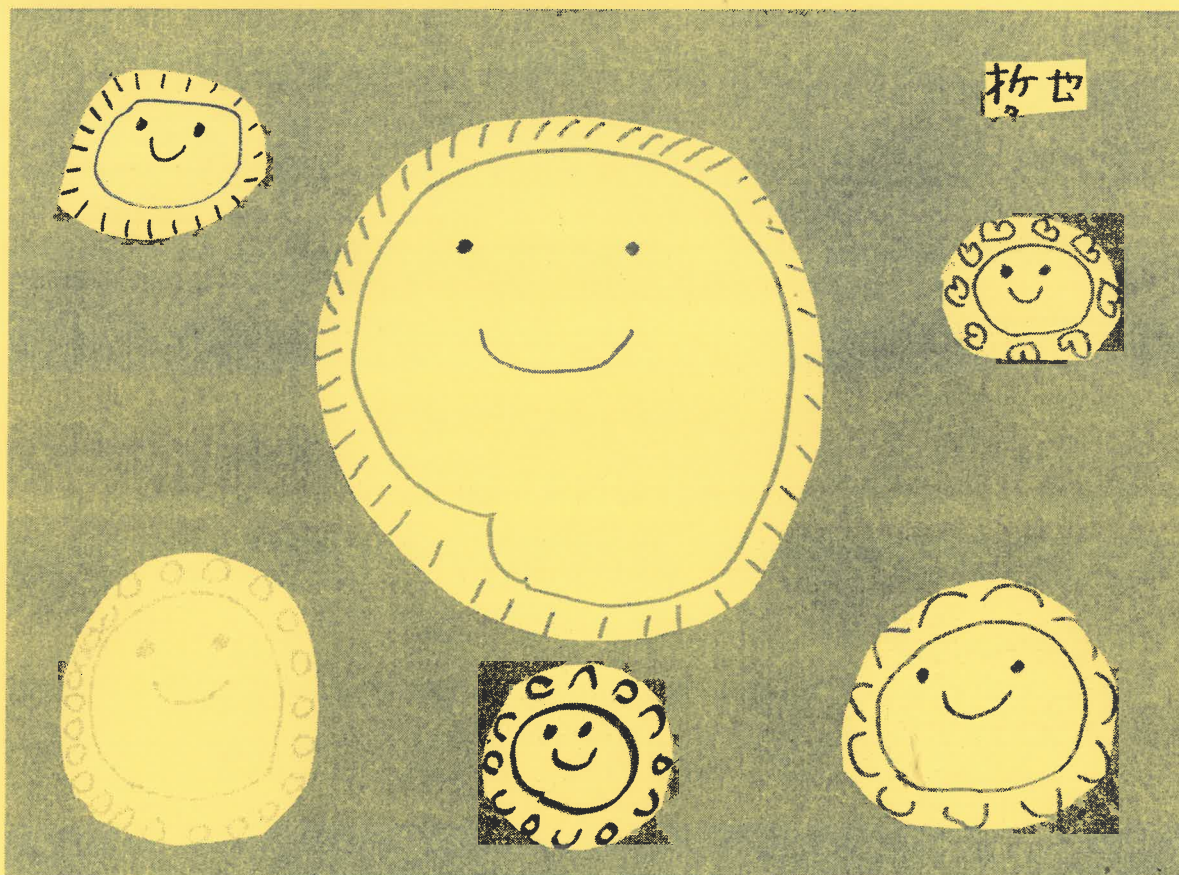


じんけん だんじょきょうどうさんかく

# 人権・男女共同参画フォーラム2023

だい かい しょう しゃじ じんけん かんが  
第46回 障がい者児の人権を考える

しみん  
市民のひろば



え おとくにわかたけえん りようしゃ  
絵 乙訓若竹苑 利用者

れいわ ねん がつ か ど  
令和5年12月2日(土)

ながおかきょうしり つちゅうおうこうみんかん  
長岡京市立中央公民館

12月4日(月)～12月10日(日)は人権週間です

12月3日(日)～12月9日(土)は障害者週間です

## かいさいあいさつ 開催挨拶

ながおかきょうしちょう なかこうじ けんご  
長岡京市長 中小路 健吾

ほんじつ は、「じんけん・だんじょきょうどうさんかく  
今日は、「人権・男女共同参画フォーラム2023」「第46回障がい  
しゃじ じんけん かんが しみん さんか まこと  
者児の人権を考える市民のひろば」にご参加をいただき、誠にありがと  
うございます。

しんがた かんせんしやう えいきやう のこ いりやう  
新型コロナウイルス感染症の影響は、まだまだ残りますが、医療  
じゅうじしゃ みなさま どりよく せいか みの ことし じゅうらい けいしき  
従事者をはじめとした皆様の努力の成果が実り、今年は従来の形式で  
かいさい  
開催できたことを大変嬉しく感じております。

さて、せかいじんけんせんげん さいたく ことし ねん みなさま  
さて、世界人権宣言が採択されてから今年で 75 年となります。皆様  
しょうち じんけん わたし にんげん しあわ い  
ご承知のように、「人権」とは、私たちが人間らしく 幸せに生きていく  
だれ う も けんり ひと おな びやう  
ために、誰もが生まれながらに持っている権利です。どの人も同じく平  
どう ひとり さんざい さんちやう  
等であり、一人ひとりがかけがえのない存在として尊重されなければな  
りません。しかし、ざんねん じんけんしんがい いま われわれ みちか さんざい  
りません。しかし、残念ながら人権侵害は、今もなお我々の身近に存在  
なか ふたし じやうほう もと こうどう えすえぬえす さべつてき  
するものです。中には不確かな情報に基づく行動や、SNSへの差別的  
か こ あたら かたち じんけんしんがい ひ お  
な書き込みによる、新しい形での人権侵害も引き起こされています。

いっぽう せかいじんけんせんげん りねん じつげん せかいじゅう じんけんしんがい ほうし  
一方で、世界人権宣言の理念を実現しようと世界中で人権侵害を防止す  
る施策がすす  
進められております。

ほんし りねん じつげん しょう う む せいべつ かか  
本市もこの理念を実現するとともに、障がいの有無や、性別などに関  
わらず、あらゆるひと たようせい みと あ じぶん く  
わらず、あらゆる人が、多様性を認め合い、自分らしく暮らすことがで

きょうせいしゃかい　じつげん　ひ　び　さまざま　じぎょう　じっし  
きる共生社会の実現をめざして日々様々な事業を実施しております。そ

いっかん　ほんじつ　じんけん　だんじょきょうどうさんかく　しょう　しゃじ  
の一環として本日「人権・男女共同参画フォーラム」と「障がい者児の

じんけん　かんが　しみん　こうどうかいさい  
人権を考える市民のひろば」を合同開催いたします。

ほんじつ　つう　さまざま　じんけん　かんが　じんけん  
本日のイベントを通じて、様々な「人権」について考え、「人権」を  
かん　感じていただくきっかけとなることを　こころ　ねが  
心より願っております。

たが　かんしん　も　きょうりょく　あ  
お互いのことに関心を持ち、協力し合ってこそ、キャッチフレーズで  
ある「きょうかんが　きょうかんが　とも　かんが　く　暮らしやすいまちながおかきょう  
今日考えよう　共に考えよう　暮らしやすいまち長岡京」の  
め　ざ　むね　やど  
目指すビジョンがひとりひとりの胸に宿るのではないのでしょうか。

ひと　じぶん　あんしん　く　みなさま　とも  
そして、すべての人が自分らしく安心して暮らせるまちを、皆様と共  
につく　かんが　こんご　りかい  
に創りあげてまいりたいと考えておりますので、今後とも、ご理解とご  
きょうりょく　ねが  
協力をよろしくお願いいたします。

むす　みなさまがた　けんこう　たこう　きねんもう  
結びにあたりまして、皆様方のご健康とご多幸を祈念申し上げますとと  
もに、これから　すえなが　しみん　みなさま　じんけん　まも　せいぎ　よ  
もに、これからも末永く、市民の皆様とともに人権を守れる21世紀の世  
なか　つく　どりょく　ちか　わたし　あいさつ  
の中を作る努力をしていくことをお誓いして、私の挨拶とさせていただきます。  
きます。

## あいさつ ご挨拶

しょう しゃじ じんけん かんが しみん  
障がい者児の人権を考える市民のひろば

じっこういいんちょう  
実行委員長

みなさま、こんにちは、しょう しゃじ じんけん かんが しみん じっこういいんちょう  
の 後藤悦子と申します。

ほんじつ だい かい  
本日、第46回となりますしょう しゃじ じんけん かんが しみん かいさい  
きますことは、ながおかきょうしちょう かんけいだんたい みなさま かいじょう こ みなさま  
また じゅんび ほんじつ かいさい いた し えん きょうりよく かたがた  
げと、こころ かんしゃもう あ  
げと、心より感謝申し上げます。

しょう わたし い い こんなん こころぼそ  
障がいのある私たちが生きて行くことは、とても困難で心細いものです。  
くふう どりよく げんかい きはく ことく  
工夫や努力をしても限界があり、コミュニケーションまでもが希薄になり、孤独  
を かん わたし み げんいん じんかく  
感じます。私においては、見えないことが原因でできないだけなのに、人格  
までもが ひてい かな おも せっきょくてき  
までもが否定され、悲しい思いをしたこともありました。できることは積極的  
にと く ぐたいてき つた りかい もと  
に取り組み、できないことは具体的に伝え、理解を求めています。

いまいちど ながおかきょうし しょう しゃきほんじょうれい りねん さいにんしき しょう う む  
今一度、長岡京市の障がい者基本条例の理念を再認識し、障がいの有無に  
かか だれ あんしん く ながおかきょうし きょう  
関わらず、誰もが安心して暮らせる長岡京市になりますよう、今日のひろばが  
みなさま じ しん みなさま たいせつ ひと じんけん かんが  
皆様自身、そして皆様の大切な人の人権について考えるきっかけになります  
こと、また ひと ひと つな たいせつ かん すこ かか  
こと、また人と人との繋がり大切さを感じていただけますことに、少しでも関  
われましたら さいわ  
われましたら 幸いです。

さいご きょうかいじょう こ みなさま かか  
最後になりましたが、今日会場にお越しの皆様をはじめ、ひろばに関わって  
くださっている みなさま ちいき く みなさま た こう ねが わたくし  
からの あいさつ  
からの挨拶とさせていただきます。

# じんけんようごいいん かつどう 人権擁護委員の活動について

じんけんようごいいん うえだ りえこ  
人権擁護委員 植田 利江子

## 1 はじめに

みな じんけんようごいいん うえだ りえこ  
皆さん、こんにちは。人権擁護委員の植田 利江子です。

きょう じんけんようごいいん かつどう ほうこく  
今日は、人権擁護委員の活動について、ご報告させていただきます。

じんけん なん じんけん  
はじめに、人権って何でしょうか。人権とは

- ひと こうふく けんり  
・すべての人が幸福になる権利
- にんげん にんげん い けんり  
・人間が人間らしく生きる権利
- だれ う も けんり  
・誰もが生まれながらに持つ権利

しあわ い だれ みと きほんてき けんり  
といわれ、幸 せに生きるために、誰にでも認められている基本的な権利で  
す。その権利は、誰にとっても身近で大切なもので、日常の思いやりの心  
まも  
で守られるものです。

げんじつ しょう しゃ こうれいしゃ じょせい しゃかいてき よわ  
しかし、現実には、障 がい者や高齢者、こどもや女性など、社会的に弱い  
たちば ひと ぼうこう ぎやくたい さべつ いや ひが い う  
立場の人が、いじめや暴行、虐待、差別、嫌がらせなどの被害を受けるとい  
じんけんもんだい お  
った人権問題が起きています。

きんねん じょう じんけんしんがい とくてい みんぞく こくせき ひと  
また近年、インターネット上における人権侵害や、特定の民族・国籍の人  
はいせき ふとう さべつてきげんどう お  
びとを排斥しようとする不当な差別的言動、いわゆるヘイトスピーチも起こ  
っています。

なか へいせい ねん しょうがいしゃさべつかいしょうほう  
このような中で、平成28年に「障害者差別解消法」「ヘイトスピーチ  
かいしょうほう ぶらくさべつかいしょうすいしんほう しこう ほうりつ ふとう  
解消法」「部落差別解消推進法」が施行されました。これらの法律は、不当  
さべつ わたし ひとり じんけん そんちょう しゃかい じつげん  
な差別をなくし、私 たち一人ひとりの人権が尊重される社会の実現をめざ  
したものです。

ほうりつ じんけんもんだい かいけつ  
しかし、これらの法律ができたからといって、人権問題が解決したことには  
なりません。わたし ひとり じんけん かんしん も ほうりつ しゅし  
私 たち一人ひとりが、人権への関心を持ち、法律の趣旨を  
りかい にちじょうせいかつ なか じっこう じっせん もと  
理解して、日常生活の中で実行・実践していくことが求められています。

じんけんようごいいん しみん たちば みなさま じんけん かんしん も  
人権擁護委員は、市民の立場から、皆様に人権への関心を持っていただく  
かつどう なおかきょうし にん ぜんこく やく まん せん  
よう、活動しているボランティアで、長岡京市に10人、全国で約1万4千

にん かつどう  
人が活動しています。

じんけんようごいいん かつどう じんけんけいはつかつどう じんけんそうだんかつどう じんけんしんぱんじけん  
人権擁護委員の活動には、人権啓発活動、人権相談活動、人権侵犯事件の  
ちょうさ きゅうさいかつどう  
調査・救済活動の3つがあります。

## 2 人権啓発活動について

わたし ねん なんかい えきまえ じんけん かん くば  
私たちは、年に何回か、駅前などで人権に関するチラシを配っています。

ぜひチラシを受け取ってください。

こんにち じんけん たいせつ みな りかい にん き  
今日、人権の大切さは、皆さん理解されています。10人に聞いたら10  
にん じんけん たいせつ こた  
人ともが人権は大切にしなければならないと答えられるでしょう。しかし、  
げんじつ じんけんしんがい お  
現実には人権侵害が起こっています。なぜでしょうか。

たとえば、仕事をもっと効率よく早く仕上げたい、あるいは、試合に勝ち  
たい、また、もっと仲間だけで楽しみたい、といったことを優先するあまり、  
とき たにん じんけん そまつ あつか  
時として、他人の人権を粗末に扱うことがあります。

ふだん たいせつ おも じんけん わす たな あ  
普段、大切と思っている人権をそのときだけ忘れる、あるいは棚上げして  
しまうことがあるのではないのでしょうか。

このようなことが起こらないように、わたしたちの心の中で、人権の大切  
さを思い起こすために、またどのようなときでも人権意識を失わないため  
に、機会あるごとに「人権の大切さ」を訴える人権啓発活動が必要だと思  
います。

こんご がいとう じんけんけいはつかつどう み じんけん かん  
今後、街頭で人権啓発活動を見かけたり、人権に関するチラシを受け取  
たりされたとき、あらためて人権の大切さに気づき、人権意識を持ち続けて  
いただきたいと思います。

また、人権の大切さは、こどものころから育む必要があるということで、  
じんけんようごいいん しない しょうがっこう ようちえん ほいくえん ほいくしょ じゃま  
人権擁護委員が市内の小学校や幼稚園、保育園、保育所などにお邪魔して、  
すいせん きゅうこん くば そだ とお いのち たいせつ  
水仙やアネモネの球根を配り、育てることを通して、「命の大切さ」や  
あいて おも はぐく じんけん はなうんどう おこな  
「相手への思いやり」を育む「人権の花運動」を行っております。

さらに中学校では、人権に関する作文を書くことを通して、豊かな人権  
かんかく み もくてき ぜんこくちゅうがくせいじんけんさくぶん じっし  
感覚を身につけることを目的に「全国中学生人権作文コンテスト」を実施し



ています。また、毎年2市1町で人権教室も実施しています。

### 3 人権相談活動について

人権擁護委員は、皆様の人権に関わる問題の相談に応じています。京都地方法務局では、土日祝日を除く毎日、面接や電話のほか、メールやLINEを利用しての相談も行っています。また月2回ですが長岡京市役所でも面接による人権相談を行っています。

こども向けには、電話による「こどもの人権110番」と、「こどもの人権SOSミニレター」といった手紙による相談や、「SOS eメール」というメールによる相談も行っています。「こどもの人権SOSミニレター」は小中学校のほか、図書館などにも配架していますのでご利用ください。

皆さまも人権に関わる相談があるときは、ぜひご利用ください。相談内容に関するプライバシーは必ず守られますので、安心してご相談ください。

### 4 人権侵害事件の調査・救済活動について

人権相談で「人権を侵害された」という被害者からの申し出を受け、必要に応じて人権擁護委員と法務局職員が協力して、被害事実の調査を開始します。そして、調査結果に基づき、人権侵害が認められるかどうかを判断し、事案に応じた適切な措置を講じています。

### 5 終わりに

最近の新しい人権侵害として、インターネットなどの新しい技術の進歩による生活の変化、また、東日本大震災や異常気象などの新しい事故・事件の発生、さらに新型コロナウイルス感染症の流行に起因するものがあります。これら、私たちがこれまでに経験したことがないことに会ったとき、弱い立場の人がウワサ話などで人権侵害にあうといわれています。

これから先、どのようなことが起こるかわかりませんが、困難な事態になった時、自分が人権侵害にあうだけでなく、自分が他人の人権を侵害するこ

とも十分に<sup>じゅうぶん</sup>考<sup>かんが</sup>えられます。そうならないために、いつ、いかなるときでも、人権意識<sup>じんけんいしき</sup>を持つことが大切です。

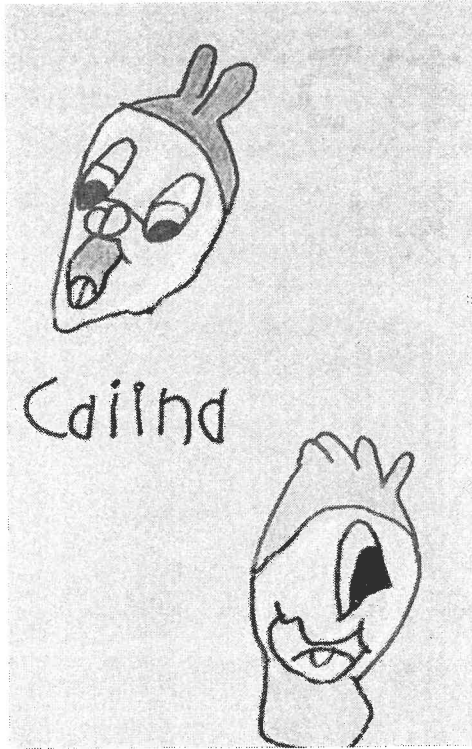
人権意識<sup>じんけんいしき</sup>とは、人権<sup>じんけん</sup>を尊重<sup>そんちょう</sup>する意識<sup>いしき</sup>ということですが、自分<sup>じぶん</sup>の人権<sup>じんけん</sup>が尊重<sup>そんちょう</sup>されるには、自分<sup>じぶん</sup>が他人<sup>たにん</sup>の人権<sup>じんけん</sup>を尊重<sup>そんちょう</sup>しなければなりません。

すなわち人権意識<sup>じんけんいしき</sup>は、「他人<sup>たにん</sup>に対する思いやり、いたわり」あるいは「他人<sup>たにん</sup>の心<sup>こころ</sup>の痛み<sup>いた</sup>を理解<sup>りかい</sup>する」という気持ち<sup>きもち</sup>を持ち続けることだと思<sup>おも</sup>います。

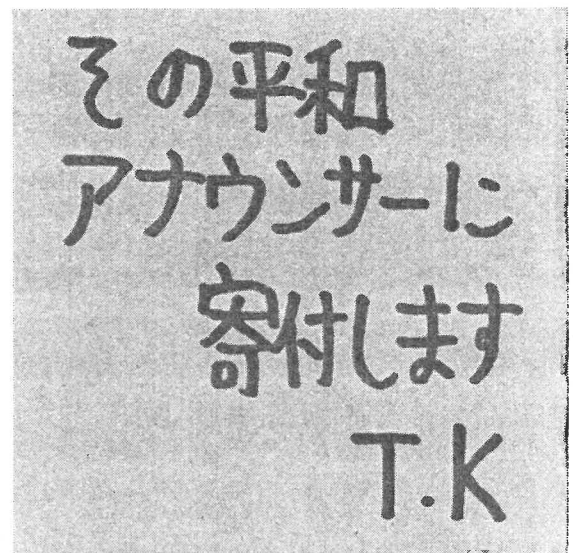
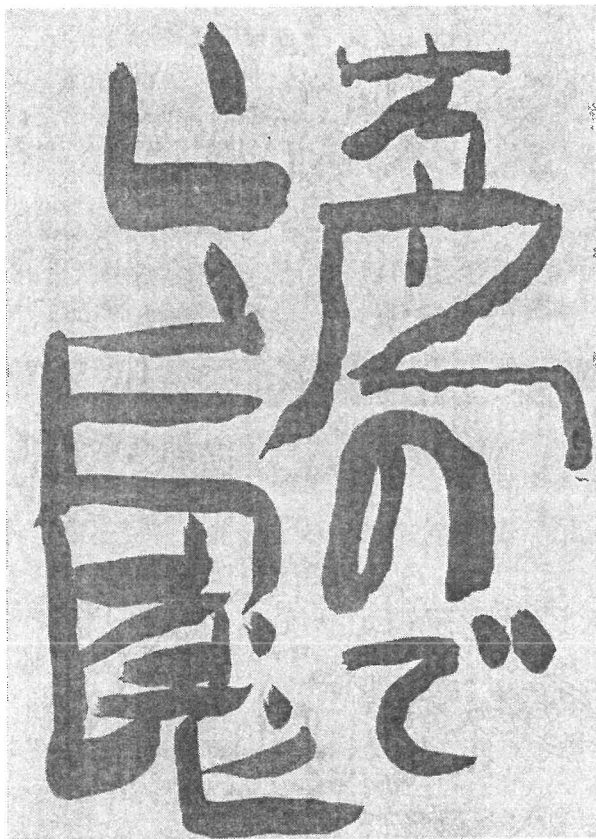
最後に、人権侵害<sup>じんけんしんがい</sup>と思われるような不当<sup>ふとう</sup>な差別<sup>さべつ</sup>や暴行<sup>ぼうこう</sup>・虐待<sup>ぎゃくたい</sup>を受けたとき<sup>う</sup>は、一人<sup>ひとり</sup>で悩<sup>なや</sup>まずご相談<sup>そうだん</sup>ください。また周囲<sup>しゅうい</sup>で見聞<sup>みき</sup>きした方<sup>かた</sup>からの相談<sup>そうだん</sup>も受け付けています。ぜひご利用<sup>りよう</sup>ください。

以上<sup>いじょう</sup>を持ちまして、人権擁護委員<sup>じんけんようごいいん</sup>の活動報告<sup>かつどうほうこく</sup>とさせていただきます。





かくだんたい とうこう  
各団体からの投稿



絵・作品 芸術者苑 利用者



・ 目の見えない、見えにくい人のこと、ご存知ですか？

目が見えない、見えにくいといっても、見え方は人それぞれ「光もわからない全く見えない人」、「明暗やシルエットはわかる人」、「文字を拡大したり、コントラストをつければ文字が認識できる人」など一人一人見え方は違いますが、外を歩く時、買い物の時、相手の顔や表情がわからない時など、困りごとは同じだったりします。

・ 白杖を持った人に、声をかけたことはありますか？

声をかけてくださった方、本当にありがとうございます。白杖を持った人が困ってそうだったり、危ないかとも思われる時には、声をかけてくださると助かります。

【 声のかけ方、サポートの仕方のポイント 】

- ① 「お手伝いしましょうか」、「何かお困りですか」と声をかけてみてください。
- ② 「お願いします」など返事があれば、できる範囲でサポートをお願いします。
- ③ サポート方法は、一つは言葉で伝えること、他には一緒に歩くことがあります。歩く時は、「私の腕を持たれますか」と、肘や肩を持たせてもらえると安心です。

・ 目の見えない見えにくい人と、知り合ってみませんか？

私たちは視覚に障がいはあるけれど、皆さんと同じようにこの地域で暮らしています。見ることにについては周りの人に助けてもらいながら、音や声を聴いて、物を触り人と触れ合い、香りや味を楽しみ、自分なりの幸せな生活を送っています。ご興味ある方は下記の場にお越しください。

☆ ご興味ある方へ

- ・ 目の見えない見えにくい人たちの情報交換や交流の場  
= 乙訓サテライト事業「毎月第3水曜日」
- ・ 点字点訳を学びたい方へ  
= 点訳奉仕員養成講座
- ・ 本を読みみたい方へ  
= 朗読ボランティア講座
- ・ 外出支援の知識技術を学びたい方へ  
= 同行援護従業者養成研修

※ 詳しくは、市の広報などをご覧ください。



## こそだ 子育て

1985年<sup>ねん</sup>に出産<sup>しゅつさん</sup>しました。

生後<sup>せいご</sup>1ヶ月<sup>かげつ</sup>半<sup>はん</sup>で産休<sup>さんきゅう</sup>終了<sup>しゅうりょう</sup>、仕事<sup>しごと</sup>へ復帰<sup>ふっき</sup>のため、たけのこ保育園<sup>ほいくえん</sup>へ6ヶ月<sup>かげつ</sup>間<sup>かん</sup>、向日市立<sup>むこうしりつ</sup>第2保育所<sup>だいほいくしょ</sup>へ6年間<sup>ねんかん</sup>通所<sup>つうしよ</sup>しました。

保母<sup>ほぼ</sup>たちは親<sup>おや</sup>たちとも手話<sup>しゅわ</sup>、筆談<sup>ひつだん</sup>などでコミュニケーション<sup>たいせつ</sup>を大切にしてくれました。

途中<sup>とちゅう</sup>でろうあ親<sup>おや</sup>子<sup>こ</sup>も入<sup>はい</sup>りました。子供<sup>こども</sup>は健聴<sup>けんちよう</sup>ですが、ご両親<sup>りようしん</sup>は主<sup>おも</sup>に手話<sup>しゅわ</sup>で会話<sup>かいわ</sup>します。

筆談<sup>ひつだん</sup>はできません。家<sup>いえ</sup>で絵本<sup>えほん</sup>の読み聞かせ<sup>よきき</sup>ができるように、保育所<sup>ほいくしょ</sup>で私<sup>わたし</sup>と保母<sup>ほぼ</sup>たちも

一緒<sup>いっしょ</sup>に手話<sup>しゅわ</sup>表現<sup>ひょうげん</sup>をかんがえて練習<sup>れんしゅう</sup>しました。

通所<sup>つうしよ</sup>1年<sup>ねん</sup>目<sup>め</sup>から親<sup>おや</sup>たちのための手話<sup>しゅわ</sup>クラブ「グーチョキパー」を立ち<sup>た</sup>上げ<sup>あ</sup>、親<sup>おや</sup>たちと楽し<sup>たの</sup>く交流<sup>こうりゅう</sup>を続ける<sup>つづ</sup>ことができました。

娘<sup>むすめ</sup>が5年生<sup>ねんせい</sup>の時<sup>とき</sup>、転居<sup>てんきょ</sup>によって向日市立<sup>むこうしりつ</sup>第二小学校<sup>だいにしょうがっこう</sup>から長岡京市内<sup>ながおかきやうし</sup>小学校<sup>いししょうがっこう</sup>へ転校<sup>てんこう</sup>しました。

授業参観<sup>じゅぎょうさんかん</sup>日<sup>び</sup>の時<sup>とき</sup>は向日市<sup>むすめ</sup>の時<sup>とき</sup>と同じく学校<sup>がっこう</sup>から通訳者<sup>つうやくしゃ</sup>派遣<sup>はけん</sup>依頼<sup>いらい</sup>してもらいました。

しばらくして娘<sup>むすめ</sup>は「お腹<sup>なか</sup>が痛い<sup>いた</sup>、頭<sup>あたま</sup>が痛い<sup>いた</sup>」と度々<sup>たびたび</sup>欠席<sup>けっせき</sup>するようになり、「なんで、お母<sup>かあ</sup>さんは耳<sup>みみ</sup>が聞こえへんの？」と言われて、学校<sup>がっこう</sup>へ行きたくないという、本当<sup>ほんとう</sup>の理由<sup>りゆう</sup>を後<sup>あと</sup>になって知<sup>し</sup>りました。

私<sup>わたし</sup>がろうあ者<sup>しゃ</sup>で、手話<sup>しゅわ</sup>を使<sup>つか</sup>って話<sup>はな</sup>すことを「手真似<sup>てまね</sup>」と、いじめられていました。

娘<sup>むすめ</sup>は私<sup>わたし</sup>に心配<sup>しんぱい</sup>させたくないと黙<sup>だま</sup>っていました。

担任<sup>たん にん</sup>の先生<sup>せんせい</sup>にお願い<sup>ねが</sup>して、娘<sup>むすめ</sup>のクラスの子どもたち<sup>こ</sup>に、「私<sup>わたし</sup>の生<sup>お</sup>い立ち<sup>たち</sup>」「耳<sup>みみ</sup>が聞こえな<sup>き</sup>い」「手話<sup>しゅわ</sup>」など話<sup>はな</sup>しました。

身体障害<sup>しんたいしょうがい</sup>について理解<sup>りかい</sup>して、助けるのではなく助け合<sup>たすあ</sup>わないと、いい社会<sup>しゃかい</sup>を築<sup>きず</sup>くのは難<sup>むずか</sup>しいと話<sup>はな</sup>しました。「もしもあなた達<sup>たち</sup>が手話<sup>しゅわ</sup>を覚えてくれてお話<sup>おほ</sup>ができたなら、嬉しい<sup>うれ</sup>いです。」と。

その夜<sup>よる</sup>、忘れ<sup>わす</sup>られないことがありました。

いじめたクラスの子と親<sup>おや</sup>が訪問<sup>ほうもん</sup>に來<sup>こ</sup>られて、謝<sup>あやま</sup>ってくれました。

卒業<sup>そつぎょう</sup>の日<sup>ひ</sup>、子供<sup>こども</sup>たちのために岡本真夜<sup>おかもとま</sup>の「tomorrow」を親<sup>おや</sup>たちと一緒<sup>いっしょ</sup>に練習<sup>れんしゅう</sup>して

手話<sup>しゅわ</sup>で歌<sup>うた</sup>い見送<sup>みおく</sup>りました。

親<sup>おや</sup>が子<sup>こ</sup>を育て<sup>そだ</sup>るのではなく、子<sup>こ</sup>が親<sup>おや</sup>を育て<sup>そだ</sup>ててくれたと思います。

娘<sup>むすめ</sup>が作<sup>つく</sup>った手話<sup>しゅわ</sup>ダンスの動画<sup>どうが</sup>をハートネットサイト<sup>み</sup>で観<sup>たの</sup>れますので、楽し<sup>おど</sup>く踊<sup>おど</sup>ってみて下<sup>くだ</sup>さい。(REIKO手話<sup>しゅわ</sup>ダンスで検索<sup>けんさく</sup>してみてください)

## 市役所窓口で「レルクリア」の利用を!!

中途失聴・難聴者協会

私は中等度難聴です。感音性難聴なので言葉の聞き取りも悪いです。ですから、病院や市役所、

お店の窓口では、相手の声は聞こえるけれどお話されている内容がわかりません。コロナ禍の中、

アクリル板やマスクで更に聞き取ることが困難になりました。対話するときには、筆談や要約筆記、

音声認識アプリのお世話になることが多いです。

みなさんは長岡京市の市役所の窓口で音声認識アプリを使って文字表記できる「レルクリア」が

設置されていることをご存知ですか？昨年の12月、「市民のひろば」で業者さんにデモストレー

ションをしていただき、設置が実現しました。現在、3階の障がい福祉課、2階の高齢介護課、1

階の市民課の窓口で設置されています。

先日、どのような感じで利用されているのか市役所を訪問してみました。障がい福祉課ではよ

く利用されているのでスムーズに使用することができましたが、高齢介護課や市民課ではほとんど

利用がないようで機器を立ち上げるのに時間がかかりました。窓口の職員さんは筆談やパソコン

の画面を見てもらって対応することが多いと言われてました。

難聴者協会の会員さんも余り利用されていないのなら

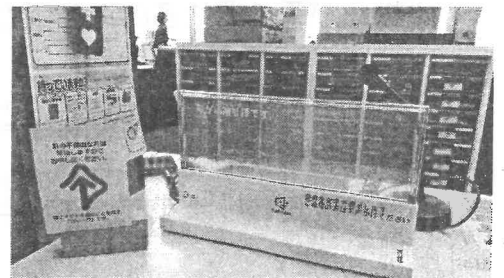
一般市民は設置されていることをご存知ないのではと思い

ました。確かに準備に少し時間がかかりますが、せっかく購入していただいた機器を使わないの

はもったいないことです。皆さま、市役所に用事で来られた時には是非「レルクリア」を体験して

帰ってください。このような機器を窓口で設置している自治体はまだ少ないのが現状です。

設置してよかったという事例をたくさん作って広げていきたいと思ひます。



## わたし 私のこれから

肢体障がい者協会

また1年が過ぎました。とても早かったような気がします。

『障がい者児の人権を考える市民のひろば』に参加するようになって何年目かなあ？

いつも慌ただしく過ぎてしまって、気がついたら当日を迎えています。

初めて参加した年は雪がちらつくとても寒い一日だったことを覚えています。

あれから何年目？そういえば年々寒さが弱まっているような、冬が遅れている気がしますね。

今日も、たくさんの人に参加してもらえたらうれしいなあと思っています。

私事で恐縮ですが、今年は生活に少し変化がありました。

コロナの恐怖から少し解放されただけでなく、4月から週に2日パートに出ることになりました。

朝夕の慌ただしさを長く忘れていたせいもあり、今でも出勤前はバタバタしているし、

物覚えが悪く慣れるのに時間がかかり、年齢に嘘はないなあと感じています。

知らなかったことを知ることは少しうれしいけど、正直しんどい。やめといたらよか

ったと後悔もしますが、80代半ばの母親がとても喜んでくれているので、案外親孝行になっているのかと思っています。

このいちねん

みなさまはなにかいいことありましたか？

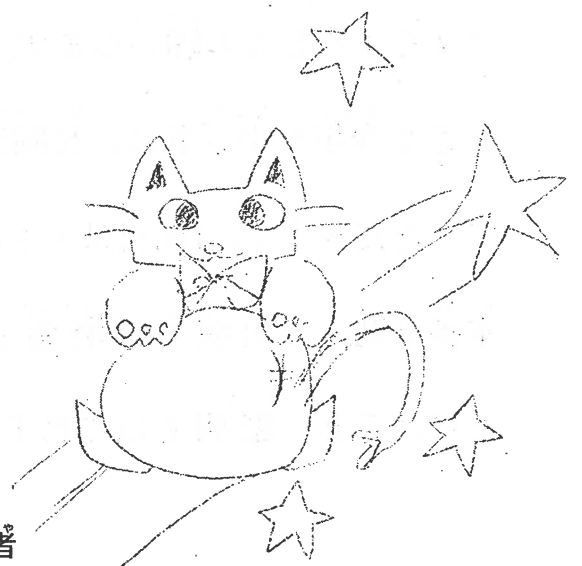
らいねんの『ひろば』で、ことしはいいことあってよかったね～とわらいあえることをねがっています。

## やよい工房

おーえぬ  
O.N

わたし がやよい工房に通い始めて15年以上が経ちました。私 が一番楽しみにしている工房の行事はやっぱり一泊旅行です。個人で旅行をあまりした事がないので毎年どこにいけるかなと楽しみにしています。特に大浴場が好きです。グループホームのお風呂と違い大きくゆったり景色を見ながら入れるのですごくリラックスできます。昔はみんなでお風呂に入ることには抵抗がありましたが今は慣れました。今年の6月は奈良県にいきました。その宿泊施設は漫画などがゆったり読めるスペースがありとてもよかったです。バスでの移動中、他のメンバーさんとお菓子交換をしたり珍しいお菓子をもらえたりするのでそれも楽しみです。

やよい工房で私は3種類の作業をしています。一番好きな作業はうんちょこです。小さな箱を折りその中にチョコレートを入れる作業です。慣れていることもありやりやすいです。一番苦手な作業はお守りの型をつける作業です。時間が経つのが遅く感じるので苦手です。私はグループホームに入居しています。ホームでは少しだけルールがあります。そのルールを守りながら生活をしています。自分の部屋では音楽鑑賞や雑誌をみたりしてゆっくり過ごしています。



絵 やよい工房 莉角著

おとくにしゅわ  
乙訓手話サークルでんでん虫

いっかげつ かい すいようび じ じはん きたかいだいかん ひら  
一ヶ月に 2回、水曜日の 10時から 11時半まで、北開田会館でサークルを開  
いています。さくねん しゅわ かいいんすう にん せま  
去年の手話ブームもあり、会員数も 100人に迫ろうとしています。  
あ まえ しゅわ ふきゅうかつどう ちょうかくしょう しゃ こうりゅう  
当たり前になってほしい手話の普及活動や、聴覚障がい者と交流をしながら  
がくしゅう  
学習をしています。コロナが5類になり、ようやく今年度は休むことなく、  
サークルの活動ができるようになりました。みなさんご存じでしょうか？  
ちょうかくしょう しゃ はなし くち うご み  
聴覚障がい者と話をするとき、マスクをしたままだと口の動きが見えない  
ので通じにくいのです。とうめい  
透明マスクをつけることはサークルでは必須です。  
しゅわうた とうだん いん ちょうかくしょう しゃ ふくそう いろ くろ おお  
手話歌に登壇しているサークル員や聴覚障がい者の服装の色は黒が多いと  
おも  
思います。これも、ちょうかくしょう しゃ しゅわ み はいりょ  
聴覚障がい者が手話を見やすいようにとの配慮です。こ  
ういったことをみなさんもし とも  
ういったことを皆さんも知っていただきたいと思います。

さて、サークルが 40すうねんなが つづ  
数年長く続けることができたのは、ちょうかくしょう しゃ  
聴覚障がい者、サ  
ークル員だけでなく、ながおかきょうし みなさま かんけいしゃ みなさま かんしゃ  
長岡京市の皆様、ひろばの関係者の皆様のおかげと感謝  
しています。こんご  
今後も、サークル員一同、しゅわ ふきゅう つと  
手話の普及に努めてまいりますので、  
どうぞよろしくねが  
お願いします。

ことし しゅわうた ながおかきょうししょうねんしょうじょがっしょうだん みな いっしょ  
さて今年も手話歌は、長岡京市少年少女合唱団の皆さんと一緒にやらせ  
ていただきます。きょくめ きょくめ しあわ て  
1曲目は「さんぽ」2曲目は「幸せなら手をたたこう」です。  
ほんばん むか しゅつえんしゃ きんちょう おも みな いっしょ しゅわ うた  
本番を迎えて出演者は緊張すると思います。皆さんと一緒に手話で歌ってい  
ただけると、きんちょう きょうりよく ねが  
緊張もほぐれます。どうぞ、ご協力お願いします。



映画 「桜色の風が吹く」を観て

おとくにてんやく  
乙訓点訳サークル

きびきびと少女白杖夏をつく 栄子

7月初め、この句の少女は、きっとその映画を観て（聴いて）の  
帰りだったでしょう、白杖を軽やかについて、文化会館から阪急の  
駅の方へ歩いて行きました。ポニーテールが初夏の風に揺れ、とても  
さわやかでした。無事に家に帰られるよう祈りながら、彼女が角を  
曲がるのを見届け、私も家に戻りました。

映画の券は思いがけず私に廻ってきました。頂いたものでした  
が、あの有名な盲ろう者で大学教授となられた、福島智さんの生い  
立ちを描いたものでした。9歳で失明し、18歳で聴力を失いなが  
らも、ひとつひとつ困難を乗り越え、母親の見出した“指点字”を得て、  
新しい世界を開拓されたのです。暗闇と無音。過酷な空間のなかで  
もがきながらも、夢を失わずに生きられたお二人の姿は、神々しく  
もあり、感動的で、そして勇気をもいただきました。

障がいがある人もない人も、助け合って暮らせる町こそが、文化度  
の高い町と言えらと思います。あのさわやかな少女の未来が、安心で  
そして安全でありますよう祈りながら、この一句を作りました。

## 乙訓要約筆記サークルラビット

「<sup>ようやくひつき</sup>要約筆記<sup>な</sup>」とは何か、<sup>ぞんじ</sup>ご存知<sup>かた</sup>の方は<sup>すく</sup>少ない<sup>おも</sup>と思います。テレビドラマなどの<sup>えいきよう</sup>影響<sup>しゅわ</sup>もあって、「手話」を<sup>ぞんじ</sup>ご存知<sup>かた</sup>の方は<sup>ふ</sup>増えて<sup>ちようかくしやう</sup>ましたが、聴覚障がい者とのコミュニケーションの方法は手話だけではありません。小さい時から耳が不自由な方たちは言葉としての手話を身に付けておられますが、大人になってから耳が聞こえにくくなった場合、手話は使えませんので、補聴器や筆談でコミュニケーションを取られています。そのような方たちが、何かの話を聞く時に、その音声を文字に通訳するのが、「<sup>ようやくひつきしや</sup>要約筆記者<sup>しや</sup>」です。

<sup>ようやくひつきしや</sup>要約筆記者のサークルであるラビットでは、<sup>ことし</sup>今年<sup>がつ</sup>3月と11月、<sup>よ</sup>しろ<sup>せ</sup>うと<sup>かい</sup>寄席の会のご協力で「<sup>きやうりよく</sup>字幕付き落語<sup>じまくつ</sup>を楽しむ会<sup>らくご</sup>」を開催しました。「<sup>いぜん</sup>以前は落語大好きだったのに、<sup>みみ</sup>耳<sup>わる</sup>が悪くなってからは行く気にもならなかった」とおっしゃる方が久しぶりの落語を楽しんでくださいました。

もう一つ、今年<sup>ひと</sup>は防災<sup>ことし</sup>バンダナの作成<sup>ぼうさい</sup>にも関わりました。今回の「ひろば」の<sup>かいじよう</sup>会場<sup>きいろ</sup>で黄色いバンダナを身に付けている人たちに気づかれたことと思います。<sup>さいがい</sup>災害時に避難所などで身に付けることで、「<sup>みみ</sup>耳<sup>き</sup>が聞こえない」「<sup>しゅわ</sup>手話が<sup>できる</sup>できる」<sup>ようやくひつき</sup>「要約筆記・筆談<sup>ひつだん</sup>でお手伝い<sup>てつだ</sup>できる」と伝えることができるバンダナです。<sup>ちようかくしやう</sup>聴覚障がい者は外見からはわかりませんが、音声でのお知らせを聞くことができず、そのために大切なお知らせを受け取ることが難しいことがあります。大災害で避難所へ行っても、お知らせが聞こえなくて絶えず他の人の動静に注意をはらわなければならないことを想像してみてください。「<sup>やく</sup>役に立つ<sup>た</sup>日が来<sup>ひ</sup>ない方が<sup>こ</sup>いいけれど、<sup>ほう</sup>もしもの時に<sup>とき</sup>つらい<sup>おも</sup>思いを<sup>ねが</sup>しないで<sup>こ</sup>いられるように」という願いを込めたバンダナです。みなさんも避難所などで見かけたら、そのような不安を減らせるように<sup>はいりよ</sup>ご配慮<sup>ねが</sup>をお願いします。小さな配慮<sup>ちい</sup>が大きな安心<sup>はいりよ</sup>につながる<sup>おお</sup>と思います。<sup>あんしん</sup>



## 朗読ボランティア なごみ会

社協の朗読ボランティア講座を受けてなごみ会の仲間に入れていただき約30年が経ちます。

長岡京市の広報をデージーCDに録音して視覚障害の希望者にお送りしています。広報を隅から隅まで音声化します。難しいのは写真の説明です。場所の配置や色をどう伝えるか悩みます。

30年前はまだカセットテープに録音する時代で、広報も1日号、15日号と月2回発行されていました。読み間違えると少し戻って読み直し、できるだけわからないように繋ぎなおしたり、それぞれ90分テープ、60分テープに収めないといけないので最後のほうは早口になったり…いろいろ苦勞がありました。時代は進み最近パソコンで作業するようになりそういう点は解消されたのですが、パソコンに強いとは言えない我々…毎回必死で、まだまだ慣れと勉強が必要な毎日です。

また広報とは別に年に2回～3回

「お声のお便り」を発行しています。

このCDは本の朗読や本の紹介、身近な情報、メンバーがお出かけしてレポートしたり、音楽を流したりリスナーに楽しんで聞いて頂けるよう制作しています。なごみ会メンバーの個性がでて、聞いている方に我々のことを知って頂ける機会にもなっているのではないのでしょうか。

この先何十年か経って、みんなが直にパソコンで情報を得る事ができるようになれば必要なくなるボランティアかも知れませんね。

ただ本を読む事が好きだったから入ったなごみ会ですが、30年続けて来られた事にびっくりです。

自分の出来ることを気負わず楽しい仲間と細く長く、必要としてくださる人がいるかぎりこれからも続けていけたらいいなと思います。

私・僕の想い!

「おかしな」  
たい!

おもいがたべたいな



私・僕の想い!

「ダイアムト」

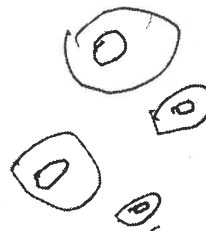
いぬがすき



私・僕の想い!

「(い)い(い)す(い)で(い)の(い)生(い)活(い)を(い)  
頑(い)張(い)り(い)ま(い)す(い)!!」

グループホーム  
せいかつがんばります



私・僕の想い!

「元気に毎日 楽(い)に  
通(い)いた(い)い!!」

げんきにまいにちがく  
えんにかよいたい



おとくに  
がくえん

私・僕の想い!

「お歌(うた)が大好きです!」

おうたがすきです

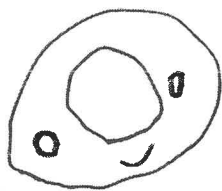
『おもいよ  
とどけ!』



私・僕の想い!

「毎(まい)日(にち) 頑(い)張(い)って(い)ま(い)す(い)」

かんさぎようがんばっ  
てます



私・僕の想い!

「買(い)い(い)物(ぶつ) お(い)で(い)かけ(け)  
大(お)好(い)き(き)で(い)す(い)」

かいもの・おでかけ  
だいすきです

## 『傾聴する』ということ

子育てが一段落した頃、社会との繋がりを求めて社協の『ガイドヘルパーボランティア養成講座』を受講し活動をスタートしました。約29年も前のことです。活動は広がりいろいろな方とお知り合いになりました。けれども活動をする中で何か足りないものを感じていた時、新聞で『傾聴』という言葉を知り社協職員に相談をしました。「京都には傾聴を学べる場所は2カ所ですが、谷さんはこちらの方が良いのではないかと思います」と紹介された団体の講座を受講することにしました。初日に指導者より「レポート審査で28名の応募者から8名受講してもらうことにしました」と言われびっくりしました。毎週ひと・まち交流館に通い午前座学、午後施設訪問実習および当日レポートを翌日までに提出。それとは別に卒業レポート。座学を担当した京都の指導者ではなく神奈川の指導者に提出し合否が判定されると聞き緊張しましたが、なんとか修了証をいただきました。現在台湾でのみ使われている聴(ティン)という漢字。『きく』とはただ単に耳で聞くだけではなく、ちゃんと目で聴く、さらには心で聴く。ここに一本横棒(一)が入っている。それぞれがバラバラでなく集中した注意力で聴くのだということ。相手の表情や振る舞いをくみ取る、察することも大切なことなのです。今、私にそれができているかといえは甚だの心もとない状況ではありますが、学びは続けていこうと思っています。

『聴くことはそれだけで援助になる』という理念を学んで13年。月1回の例会とは別に受講期・職業・年齢も違う、洛西地域に住む仲間とは、月1回Zoom会議で学びと交流を続けています。睡魔に襲われ早々に切り上げることもありますが、楽しい時間です。

ながおかきょうししょう しゃちいきせいかつしえん  
長岡京市 障がい者地域生活支援センター「キャンバス」

ピアカウンセラー

いまさら ひと つた う と むずか かん  
今更ながら、人に伝える・受け止めることの難しさを感じます。

ふくし はな とき わたし あいて はなし さいご き じ  
福祉について話す時 私は「相手の話を最後までしっかり聴いて、自  
ぶん あいて たちば おも かんが しょうがく  
分が相手の立場だったら、どう思うかな？って考えてみてね」と小学  
せい だいがくせい つた しょう ひと たい かんが い  
生にも大学生にも伝えます。障がいがある人に対して考えるという意  
み ひと もの たい  
味もありますが、人や物に対して、きっと こうだろう、と決め込ん  
こうどう い み はな  
で行動しないようにしてほしいという意味で話します。

ひと い わたし じ しん  
人には言うけれど、私自身は…どうなの？

もちろん、あうん こきゅう つう あいて い かぞく  
もちろん、阿吽の呼吸で通じる相手もたくさん居ますが、家族だから、  
よくし かいじょしゃ ただ つた  
よく知る介助者だから、いつも正しく伝わるか…というと、そうでもな  
いとき なが つ あ なが わ たが  
い時があります。長く付き合えば長いほど、分かってる、と、互いに  
おも こ ほんとう ちが おも  
思い込んでしまい、本当はちょっと違うんだけどな…、と思っても、

まっ、いいか、と そのままにしてしまうこともしばしば…あたりし  
ます。まっ、いいか、で済まらず、ちが とき ちが  
違ふ時は「違ふよ…」ときちんと  
つた あいて はなし う と おも こ たが わ  
伝える、相手の話をしっかり受け止める、思い込みではなく、互いに分  
かりあ え うえ あうん こきゅう す あいて  
かり合えた上で、阿吽の呼吸で過ごせる相手がいてくれるといいなあ  
おも  
と思います。

## カメラアについて<sup>しょうかい</sup>紹介

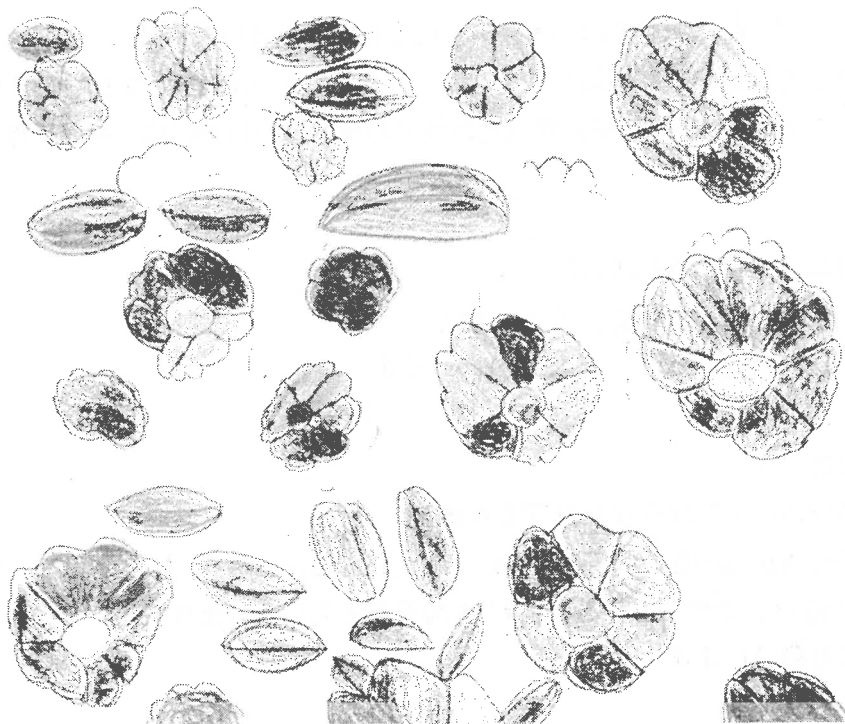
カメラアは、就<sup>しゅうろう</sup>労<sup>めざ</sup>を目指したい方、生活リズムを<sup>かた</sup>整<sup>せい</sup>えて就<sup>ととの</sup>労<sup>しゅうろう</sup>に向けて<sup>む</sup>準備<sup>じゅんび</sup>した  
かた<sup>かた</sup>が、作業<sup>さぎょう</sup>を通<sup>とお</sup>して就<sup>しゅうろう</sup>労<sup>ひつよう</sup>に必要な<sup>ちから</sup>力<sup>み</sup>を身につけられる場所としてサービス<sup>ばしょ</sup>を  
提供<sup>ていきよう</sup>していきます。

毎日<sup>まいにち</sup>、15人ほど通<sup>にん</sup>所<sup>つうしょ</sup>され、作業<sup>さぎょう</sup>は、製<sup>せい</sup>パンと内<sup>ない</sup>職<sup>しよく</sup>の2班<sup>はん</sup>に分<sup>わ</sup>かれて日<sup>ひ</sup>々活<sup>び</sup>動<sup>かつどう</sup>し  
ています。

内<sup>ない</sup>職<sup>しよく</sup>事業<sup>じぎょう</sup>は、箱<sup>はこ</sup>折<sup>おり</sup>や製<sup>せい</sup>品<sup>ひん</sup>の箱<sup>はこ</sup>詰<sup>づ</sup>め、シール貼<sup>は</sup>りなどの手<sup>て</sup>作<sup>さき</sup>業<sup>ぎょう</sup>が中<sup>ちゅう</sup>心<sup>しん</sup>です。

製<sup>せい</sup>パン事業<sup>じぎょう</sup>では、調<sup>ちょう</sup>理<sup>り</sup>パンやこっぺパン<sup>つ</sup>を作<sup>つく</sup>っています。こっぺパンは、調<sup>ちょう</sup>子<sup>し</sup>八<sup>は</sup>角<sup>かく</sup>  
にある、西<sup>にし</sup>山<sup>やま</sup>こっぺ堂<sup>どう</sup>で使<sup>つか</sup>われています。

ときどき、長<sup>なが</sup>岡<sup>おか</sup>京<sup>きやう</sup>市<sup>し</sup>役<sup>やく</sup>所<sup>しょ</sup>でも、パ<sup>はん</sup>販<sup>ばい</sup>売<sup>り</sup>をしておりますので、機<sup>き</sup>会<sup>かい</sup>があればお越<sup>こ</sup>し  
ください。



絵<sup>え</sup> 藝<sup>ぎ</sup>訓<sup>くん</sup>若<sup>わ</sup>竹<sup>たけ</sup>苑<sup>えん</sup> 利<sup>り</sup>用<sup>よう</sup>者<sup>しや</sup>



## 障害福祉センターあらぐさ

### <あらぐさ福祉会の理念>

「あらぐさ」は、「どんなに障害が重くても、乙訓でこの子を育てたい、暮らさせたい」と強く願う親たちが力を合わせて生み出しました。社会福祉法人あらぐさ福祉会は、その願いを引き継ぎ、発展させ、障害者が豊かに、安心して暮らしができる地域社会をめざします。

### <基本方針>

- ① 一人ひとりを大切に、障害の状況に合わせた活動、地域生活づくりをきめ細やかに支援します。
- ② 地域住民、団体と連携し、交流を深めて協力協同の関係をづくりします。
- ③ 親亡き後も、誰もが安心して暮らせる「生活の場づくり」に取り組みます。
- ④ 「利用者が主人公の施設」を基本に、民主的に地域に開かれた運営をすすめます。

### <事業所>

障害福祉センターあらぐさ

生活介護事業「デイセンターあらぐさ」提供単位1（定員30名）提供単位2（定員20名）

就労継続支援事業B型「ワークセンターあらぐさ」（定員10名）

所在地：〒617-0813 長岡京市井ノ内広海道42-3

電話番号：075-953-9212 FAX：075-953-9215

### <生活を豊かなものに>

フェルトや和紙作りなどの創作活動では、個性あふれる作品が生まれています。クッキーやジャム、さをり織り、草木染めなどの製品の販売に取り組むなど、一人ひとりの障害にあわせた活動を大切にしています。自然の中でのウォーキングや、買い物など地域の方々とのお付き合いは、生活を豊かなものにしています。

### <ホームページがリニューアルされました>

ブラウザで「あらぐさ福祉会」で検索してください。

アドレスは <https://www.aragusa-fukushi.jp> です。

### <SNSもご覧ください>

あらぐさ福祉会のホームページからジャンプできます。

スマホやパソコンでInstagramを開いて、“aragusahukusikai”と入力、検索してください。作品展のご案内や、製品の紹介、販売の日程など最新情報をお伝えしています。

フォローもよろしくお願いします。



しょう しゃじ じんけん かんが しみん じっこういいんかい  
障がい者児の人権を 考える市民のひろば 実行委員会

ながおかきょうしんたいしょう しゃだんたいれんごうかい  
長岡京市身体障がい者団体連合会

ながおかきょうししたいしょう しゃきょうかい ながおかきょうししかくしょうがいしゃきょうかい  
長岡京市肢体障がい者協会 長岡京市視覚障害者協会

ながおかきょうしちゅうとしつちょう なんちょうしゃきょうかい ながおかきょうし きょうかい  
長岡京市中途失聴・難聴者協会 長岡京市ろうあ協会

ながおかきょうししょう しゃそうだんいん おとくによやくひつき  
長岡京市障がい者相談員 乙訓要約筆記サークル「ラビット」

おとくにてんやく しきょう  
乙訓点訳サークル 視協サポート「ともしび」

おとくにしゅわ むし  
乙訓手話サークルでんでん虫

ろうどく かい  
朗読ボランティア「なごみ会」

おとくにて おや かい  
乙訓手をつなぐ親の会

おとくにふくしかい おとくにわかたけえん ふくしかい  
乙訓福祉会 乙訓若竹苑 あらぐさ福祉会

こうぼう しゅうろうしえん  
やよい工房 就労支援センターカメラア

ながおかきょうししょう しゃちいきせいかつしえん  
長岡京市障がい者地域生活支援センター「キャンバス」

ながおかきょうしじょせい かい ながおかきょうししょうねんしょうじょがっしょうだん  
長岡京市女性の会 長岡京市少年少女合唱団

ながおかきょうしじんけんけいはつすいしんきょうぎかい ながおかきょうししゃかいふくしきょうぎかい ながおかきょうし  
長岡京市人権啓発推進協議会 長岡京市社会福祉協議会 長岡京市

しゅさい  
主催

ながおかきょうし  
長岡京市

ながおかきょうしきょういくいいんかい  
長岡京市教育委員会

しょう しょう じんけん かんが しみん じっこういいんかい  
障がい者児の人権を 考える市民のひろば実行委員会

こうえん  
後援

きょうとしんぶんしゃ  
京都新聞社

おとくにじんけんよう ごいいんきょうぎかい  
乙訓人権擁護委員協議会

ながおかきょうししゃかいふくしきょうぎかい  
長岡京市社会福祉協議会

こうえん じよせい  
後援・助成

こうえきざいだんほうじんきょうとしんぶんしゃかいふくしじぎょうだん  
公益財団法人京都新聞社会福祉事業団

え おとくにわかたけえん りようしゃ  
絵 乙訓若竹苑 利用者